

津 波の甚大な被害を受けた仙台市東部沿岸地域への玄関口でもあるこの施設は、震災の記録を一方から伝えるだけではなく、来館者に記憶や思い出を残してもらおうなど、交流できる空間として開館しました。1階の交流スペースでは、津波浸水区域を表す立体地図や図書コーナーなど、仙台市東部沿岸地域の情報を発信しています。2階の展示室では、震災被害や復旧・復興の状況を伝える常設展のほか、多様な切り口で震災を伝える企画展も開催。震災のことを語り合うワークショップや、周辺スポットを巡るフィールドツアーなども不定期で行っています。2階の廊下には、仙台市在住のイラストレーター・佐藤ジュンコ氏が手がけたイラストマップを展示。マップに示された地域の思い出などをふせんに書き込み、来館者なら誰でもマップに追加することができますので、ぜひ参加してみましょ。



仙台在住のイラストレーター・佐藤ジュンコ氏によるイラストマップの展示。北は仙台港、南は名取市関上まで、仙台市沿岸部を中心に、地域の魅力や震災前から現在までの思い出が描かれている



体験型展示「わたしたちの3.11」。短冊に2011年3月11日の出来事を書き、裏面に未来の願い事を書いたら、好きな場所に設置。後日、仙台七夕まつり開催期間に合わせ、館内の七夕飾りとして活用する



駅直結で、いつでも立ち寄れる1階の交流スペース。立体地図や関連図書などを通じて、仙台市東部沿岸地域の情報を発信。自由に持ち帰れるリーフレットなどを、常時豊富に取り揃えている

考えてみよう

Q1 2階展示室の床、テーブルや長椅子には、ある物が再利用されています。一体何が使われているのでしょうか？

Q2 体験型展示「わたしたちの3.11」では壁にたくさんの短冊が貼られています。この展示にはどんな思いが込められているのでしょうか？

A1 津波被害で閉校となった、東六郷小学校の体育館のステージの部材などが使われている。

A2 過去・現在・未来の時間軸に沿って記憶や思い出を残し、共有しようという思い。ともに考え対話することの大切さを教えてくれる。

●せんだいし
仙台市

●せんだいさんてんいちいちめもりあるこうりゅうかん
せんだい3・11メモリアル交流館

それぞれの記憶と思い出を共有できる場所

仙台市の被害状況

最大震度 6強

浸水面積
宮城野区20km²
若林区29km²
太白区3km²

最大浸水高 19.7m

全壊 30,034棟
半壊 109,609棟
一部損壊 116,046棟

死者 923人
行方不明者 27人
負傷者 2,277人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

施設ガイド **車椅子OK**
※要予約

施設DATA

●せんだいさんてんいちいちめもりあるこうりゅうかん
せんだい3.11メモリアル交流館

☎ 022-390-9022 **MAP** P115C4

① 仙台市若林区荒井字沓形85-4
地下鉄東西線荒井駅内

② 仙台市営地下鉄東西線荒井駅直結

🕒 10～17時

🗓 月曜（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日曜、祝日を除く）、ほか臨時休館あり

③ 無料

④ なし（近隣に有料駐車場あり）

<https://sendai311-memorial.jp>

